



かわ ^{なが}
川がまっすぐに流れないのはなぜ

^{なが}流れがゆるやかになると、^ま曲がって^{なが}流れる

かたむきがゆるやかな ^{ところ}所に、^{みず}水を流してみると、^{みず}水の流 ^{なが}れはまっすぐに流れないで、^ま曲がって流れます。

川が ^{かわ}中流 から ^{ちゅうりゅう}下流 を流れるようになると、^{じょうりゅう}上流 に比べて川の流 ^{なが}れは、ゆるやかになってきます。かたむきがゆるやかな ^{ところ}所に、^{みず}水を流したときのように、川の流 ^{なが}れがゆるやかになると、^{かわ}川は曲がって流れます。

川が少しでも曲がって流れると、川の曲がり角の内側では流 ^{なが}れがおそく、^{はこ}運ばれてきた ^{どしゃ}土砂や、^{いし}石などが ^つ積もります。曲がり角の外側では、水の流 ^{なが}れが速く、^{はや}川岸が ^{かわ}けずられます。長い年月の間に、^{なが}川岸を ^{ねんげつ}けずるは ^{あいた}たらきと、^{かわ}けずられたものが、^つ積もるは ^{かえ}たらきがくり返されて、川は ^{かわ}どんどん、^ま曲がって流れるようになります。

^みかづき ^こ
三日月湖ができるときがある

川の曲がり方が ^{かわ}だんだん ^{かた}大きくなると、川の曲がった ^お所が、^{かわ}くつき ^まそうになります。このようになったときに、^{こうずい}洪水などが ^お起こると、川の ^{かわ}水が ^{みず}曲がった ^ま所を ^{とお}通らずに、^{あたら}まっすぐな、^{かわ}新しい川 ^{かわ}すじをつくる ^まことがあります。すると、川の曲がっていた ^{ところ}所が ^{のこ}とり残されて、^み三日月 ^{かたち}のような ^{みずうみ}形の ^み湖 ^こができます。これを、^み三日月湖 ^こといいます。

川の流れの変わり方

(監修・国司・真)

